

1: 化学品及び会社情報

製品名	Q5™ High-Fidelity 2X Master Mix
製品番号	M0492
登録番号	情報なし

安全データシートの供給者の詳細

供給者

ニュー・イングランド・バイオラボ・ジャパン株式会社
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-2-3 倉持ビル第
2-03-5669-6195
tech.jp@neb.com

緊急連絡電話番号 03-5669-6191

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	情報なし
推奨されない用途	情報なし

2: 危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性物質又は混合物でない 区分外

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性物質又は混合物でない 区分外

予防

・ 該当しない

対応

・ 該当しない

保管

・ 該当しない

廃棄

・ 該当しない

他の危険有害性

情報なし。

3: 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名	CAS番号	重量%	ENCS Inventory	化審法番号	ISHL Inventory	安衛法番号
企業秘密	企業秘密	0 - 10%	Existing	(2)-1553	Existing	Present (2)-1553 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law)
企業秘密	企業秘密	0 - 10%	Existing	(1)-228	Existing	Present (1)-228 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law)
企業秘密	企業秘密	0 - 10%	Existing	(1)-215,(2)-186	Existing	Present (1)-215, (2)-186 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4: 応急措置

吸入	空気の新鮮な場所に移すこと。
皮膚接触	皮膚を石けん(鹼)と水で洗うこと。
眼接触	上下のまぶた(眼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。
経口	水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。
症状	情報なし。

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5: 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法
大規模火災 水噴霧でドラムを冷却すること。
警告：消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。

消火を行う者のための特別な保護具 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 十分換気されているか確認すること。

緊急対応を行う者のための保護具 8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については12項を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次危険有害性の予防 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

8: ばく露防止及び保護措置

技術的対策 シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない

環境ばく露防止	情報なし。
個人用保護具[PPE]	
呼吸用保護具	通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。
眼 / 顔の保護具	特別な保護具は必要とされない。
皮膚及び身体の保護具	特別な保護具は必要とされない。

9: 物理的及び化学的性質**物理的及び化学的性質に関する情報**

外観	無色	
物理的状态	液体	
色	情報なし	
臭い	軽度	
臭いのしきい値	情報なし	
特性	値	備考・方法
融点 / 凝固点		情報なし
沸点 / 沸点範囲		情報なし
燃焼性(固体、気体)		情報なし
燃焼又は爆発の上限/下限		
可燃性又は爆発性の上限		
燃焼又は爆発の下限		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火温度	215 °C / 419 °F	
分解温度		情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
分配係数(n-オクタノール/水)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度		情報なし
相対密度		情報なし
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない
その他の情報		
爆発性	情報なし	
酸化特性	情報なし	

10: 安定性及び反応性

安定性及び反応性	情報なし。
安定性	通常の条件下で安定。
危険有害性反応危険性	通常のプロセスではない。
混触危険物質	提供された情報に基づき知見なし。
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11: 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている mg/kg

- 混合物の 0 %は急性経口毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 1.2 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 19.2 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る
- 混合物の 19.2 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る
- 混合物の 19.2 %は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
企業秘密	= 28300 mg/kg (Rat) = 14500 mg/kg (Rat)	= 40 g/kg (Rat)	> 5.33 mg/L (Rat) 4 h
企業秘密	= 2600 mg/kg (Rat)	-	-
企業秘密	= 50 mg/kg (Rat)	-	-

略語及び頭文字

Rat: ラット

症状	情報なし。
経口	この化学物質または混合物の特定試験データはない。
吸入	この化学物質または混合物の特定試験データはない。
皮膚接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない。
眼接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない。
皮膚腐食性 / 刺激性	情報なし。
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし。
生殖細胞変異原性	情報なし。

発がん性	情報なし。
生殖毒性	情報なし。
特定標的臓器毒性 - 単回ばく露	情報なし。
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露	情報なし。
誤えん有害性	情報なし。

12: 環境影響情報

生態毒性
未知の危険有害性物質の濃度 混合物の.%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

化学名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
企業秘密	EC50: 12350 - 25500mg/L (96h, Skeletonema costatum)	LC50: 33 - 37g/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: =41.7g/L (96h, Cyprinus carpio) LC50: >40g/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: =34000mg/L (96h, Pimephales promelas)	EC50: =7000mg/L (24h, Daphnia species)
企業秘密	EC50: =2500mg/L (72h, Desmodesmus subspicatus)	LC50: 750 - 1020mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =1060mg/L (96h, Lepomis macrochirus)	EC50: =83mg/L (48h, Daphnia magna) EC50: =825mg/L (48h, Daphnia magna)
企業秘密	-	LC50: 431 - 495mg/L (96h, Pimephales promelas)	-

残留性・分解性 情報なし。
生体蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

化学名	分配係数
企業秘密	-2.03

他の有害影響 情報なし。

13: 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14: 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

日本 規制対象外

15: 適用法令**国内規制**

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造棟の規制に関する法律(化審法)

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

化学名	CAS番号	化審法
企業秘密		優先評価化学物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4段落で定める揮発性有機化合物

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

DSL/NDSL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

IECSC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

PICCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

AICS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

IECSC - 中国現有化学物質名録

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16: その他の情報

改訂日

10-2-2020

改訂記録

情報なし。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	皮膚兆候	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
 米国環境保護庁ChemViewデータベース
 欧州化学品局
 欧州食品安全機関(EFSA)
 EPA(環境保護庁)
 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
 米国環境保護庁高生産量化学物質
 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
 危険有害性物質データベース
 国際統一化学情報データベース(IUCLID)
 日本GHS分類
 国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
 NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
 National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)
 米国国家毒性プログラム(NTP)
 ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
 世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2014およびJIS Z 7253:2012(日本)の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり